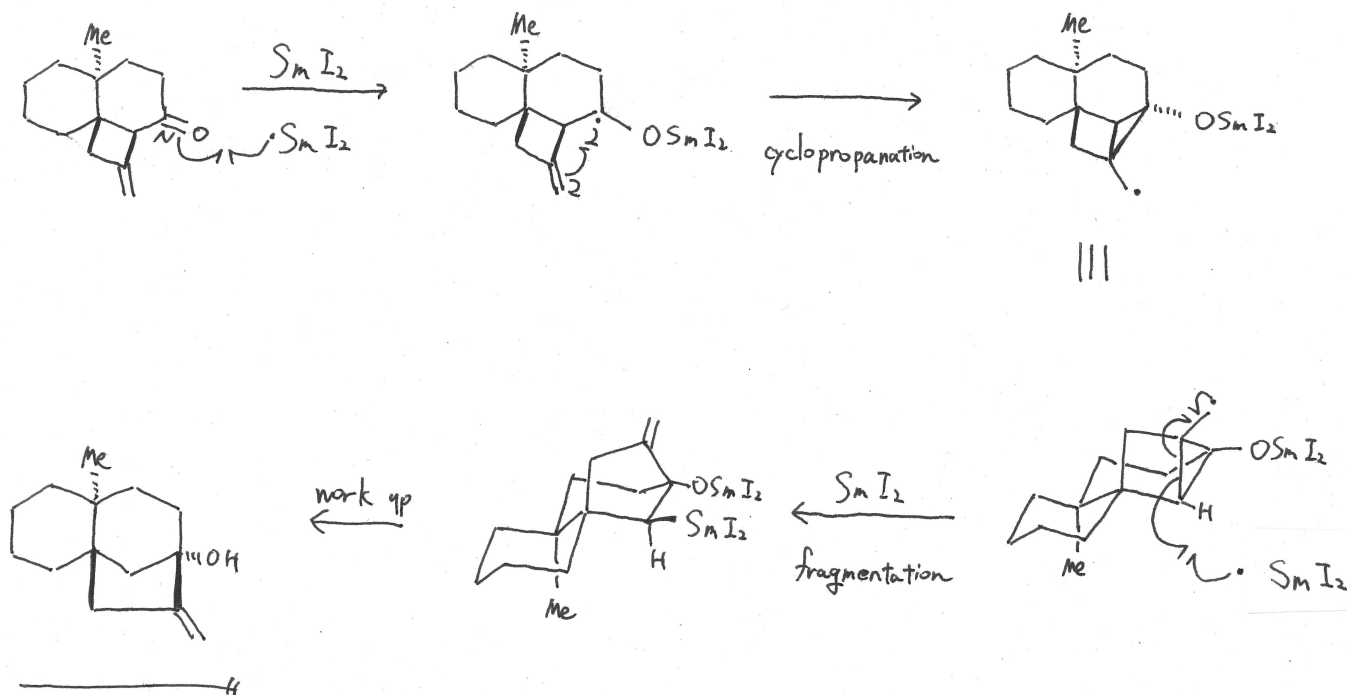
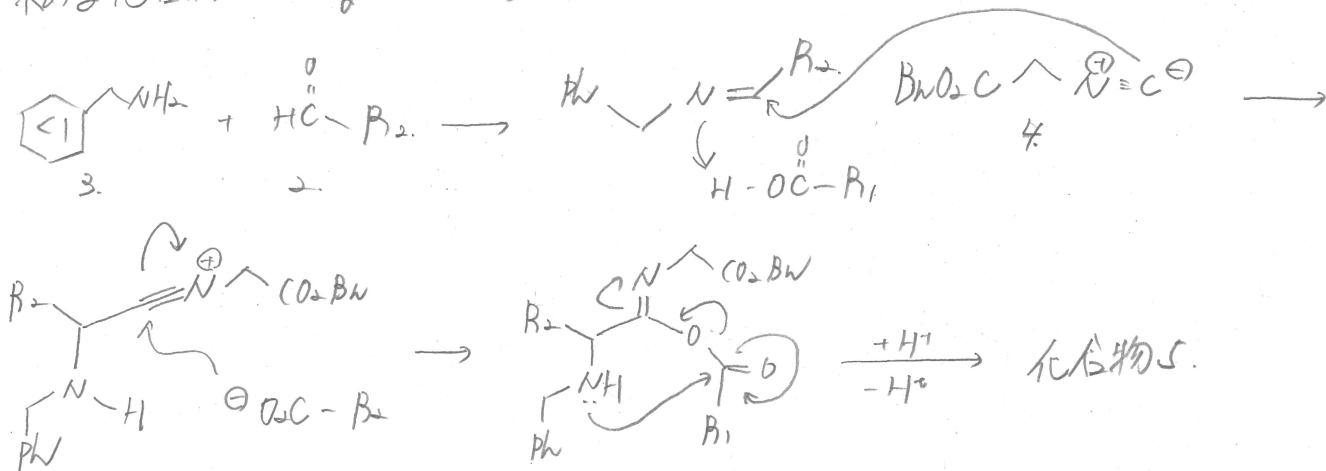




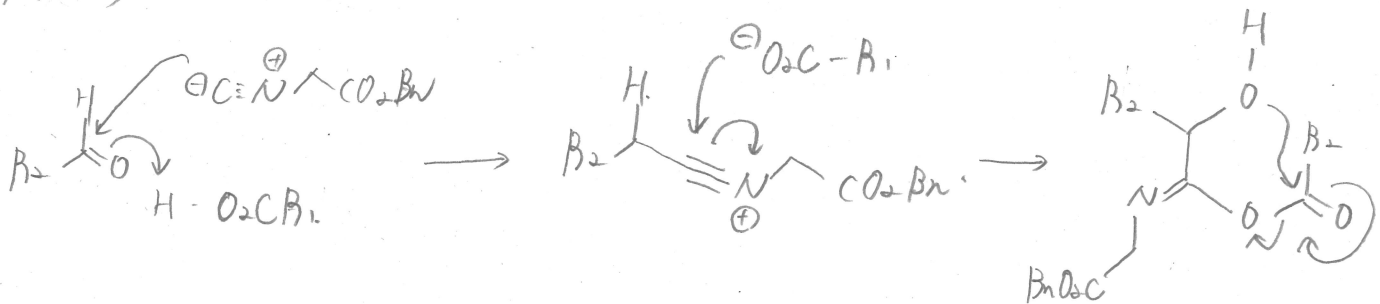


6.

求まる化合物5は Ugi 反応により得られる化合物である。



Ugi 反応では上記のようにイニシウム中間体によりイソニルが求核付加し、ついでカルボニル酸素が求核付加後、アミル転位 (Mumm 転位) が生じる。この反応では、初期段階のイソンの形成が速く、下記の副反応へ進行する。



→ 化合物 6.

上記の副反応はパルミーニ反応であり、これを抑制し Ugi 反応を優先させるには、溶媒を非プロトン性溶媒からプロトン性溶媒に変えてパルミーニ反応を抑制する。または、Lewis 酸やプロトン酸を加えて Ugi 反応におけるイソンの形成を促進させる。それだけでなく、あらかじめイソンを形成させた系に残りの試薬を加えることも可能である。